



賛助会員へのご入会・継続をお願いします

アール・ド・ヴィーヴルは、障がいのある人たちに「自分らしく生きる」場を提供し、アート活動を通じた社会参加を応援しています。そして彼らの社会的自立のため、活動による収入を得ることを目指しています。

健常者も障がい者もなく共に生き、ひとりの人間として自分らしく自信を持って生きるきっかけを作ることが私たちのミッションです。

お一人でも多くの方にアール・ド・ヴィーヴルの趣旨へのご理解とご賛同をいただき、賛助会員として継続的に活動を見守っていただければ幸いです。



賛助会員の特典 毎年アール・ド・ヴィーヴルオリジナルカレンダーを進呈いたします。また展覧会のご案内などのお知らせを折々にお届けいたします。



活動へのご寄付のご協力をお願いいたします。

単発的なご寄付も歓迎します。社会福祉法人への寄付は税額控除の対象となります

(賛助会費は税額控除対象にはなりませんのでご注意ください)

賛助会員・ご寄付ご協力のお願い <https://artdevivre-odawara.jp/supporter/>



ご協力ありがとうございました

■賛助会員(個人)：62名

■(株)アークル/(株)鮎屋/(株)エスアールシー/大田和公認会計士税理士事務所/岡宮産婦人科医院/小田原瓦斯(株)/小田原百貨店/(株)うしろろ/金指ウッドクラフト/(株)きくいち/(株)クニヨシ/けやき通り治療院/(社福)県西福祉会/さがみ信用金庫/(合)Sasaki Family Company/サンネット(株)/izumi ジュエリーシマノ/(株)新宮川/至誠法律事務所/鈴鹿かまぼこ(株)/(合)スタジオパンダ/(株)セトプリント/相洋産業(株)/曾根歯科医院/(株)タムラ製作所/(株)ティール・アイ・シー ミウラ/(株) T-FORESTRY/(株)東海ビルメンテナンス/中川食肉(株)/ニュートヨオート(株)/ヒューマンズ・ネット(株)/(医)平原眼科クリニック/フロンティア1(株)/(株)まるだい運輸倉庫/万葉倶楽部(株)/(株)ミクニ小田原事業所/(医)安間医院/(医)山田クリニック/(医)横田小児科医院/他匿名1件

■寄附：(株)アークル/永昌院/(株)関東設備/(一財)健康とアートを結ぶ会/湘南電力(株)/(株) T-FORESTRY/(株)三菱 UFJ 銀行 茅ヶ崎支店/鴛田栄二/鴛田悦子/佐藤保雄/松浦克/宮島永太良/他匿名個人7件

社会福祉法人 アール・ド・ヴィーヴル

■理事：萩原 美由紀・横田 俊一郎・中津川 浩章・牛山 恵子・ケリー 佳枝・渡真利 紘一 | 監事：柴田 和生・小室 全由
■評議員：鈴木 博晶・高橋 剛司・市川 聡・武市 早苗・栢沼 行雄・小倉 直子・田口 ランディ・鈴木 伸幸

〒250-0055 神奈川県小田原市久野 403-17 ■ TEL：0465-25-4534 ■ FAX：0465-25-1935

■ Email：info@artdevivre-odawara.jp ■ Web：https://artdevivre-odawara.jp

art de vivre NEWS LETTER 11号 編集・発行：社会福祉法人アール・ド・ヴィーヴル 2025年3月20日発行

表紙絵：吉田香奈 / ページ内の作品：アール・ド・ヴィーヴルのメンバー



NEWS LETTER Vol.11

アール・ド・ヴィーヴル 働く事業所の毎日。

事業所開所から9年。先日、アールの就労継続支援B型を卒業して企業に就職したHさんがギャラリーカフェに立ち寄りくれました。美味しいレモンケーキの作り手だった彼女、後輩のケーキ作りにアドバイスしてくれる後ろ姿が輝いてました。

「アートで障害がある人と社会をつなぐ」アールの事業所は、決して「才能がある人が絵を描く場」ではありません。調理補助、カフェ接客、グッズ製作、店頭販売、配達、展示の準備作業など、メンバーそれぞれが自分の得意なことを探して挑戦しています。

今年度は施設外就労の機会もいただき、新たな一歩を踏み出しています。現在、アールの就労支援B型の月額平均工賃は2万円を超え、生活介護の月額平均工賃も2万円まであと少しまで来ました。まだまだ道半ばではありますが、障害があっても自分らしい働き方が選択できる社会の実現を願い、活動を続けていきたいと思ひます。

理事長・萩原美由紀



新規オープンする3施設ののための受託制作。社員のみなさまと共にアートワーク行い、そのベースを生かして30号、50号という大きな作品作りに挑戦しました。「産みの苦しみを乗り越えて完成させた作品が飾られ「うれしい！」と頼もしい笑顔のメンバーたちでした。チャレンジの機会に感謝申し上げます。(理事長・萩原)



ギャラリーカフェ

地域に開かれたギャラリーカフェは、アールにとって大切な場。接客は就労に向けたトレーニングでもあります。ケーキ作りやコーヒーのハンドドリップが得意なメンバーもいます。常連さんを見つけてアトリエから出てくる人、自分の絵をプレゼンする人、絵を描く人..そんな風景がカフェの日常です。(萩原)



受託制作

CBRE Investment Management (株)さま

自由な創作だけでなく、お客様のオーダーに応じて描くことは、表現の幅や社会的な眼差しが広がる大切な体験。スタッフは完成まで並走して支えます。

作品制作の裏方業務

キャンバス地を切り、枠に留める「キャンバス作り」、リース作品の「額装」、リース先での「展示作業」。アート事業はメンバーの働きなしには成り立ちません。朝、「作業やります！」と手を挙げてくれる人がいると本当にありがたい。みんな責任持って取り組んでくれます。仕事を頼みすぎて絵を描く時間がなくなるような注意しなければ... (職業指導員・浅田)



施設外就労

2024年6月から、一般就労を希望するメンバーが、共同冷蔵株式会社までの就労にチャレンジする機会をいただきました。企業内の時間やルールを守って働くことの意味、体力的なことなど、それぞれが自分の課題に向き合いつつも、がんばった対価としての工賃は確実にみんなのやりがいになっています。共同冷蔵さまにとっては障害者雇用の初の導入事例、地域企業と共に障害がある人の働く環境を広げていけることに感謝しています。(サービス管理責任者：植木)

※施設外就労：利用者と職員がユニットを組んで企業内に出向き作業を行うこと。



コミュニケーションを甦らせたい

コロナ禍以降の徹底した感染対策はアールの日常に大きな影響を残しました。向き合っていたランチも行政の指導のもと「個食・黙食」に。隣に座っていても交流が生まれづらい日常をなんとかしたい、と支援員はあれこれ工夫します。

希望者を募って近所のファミリーレストランにランチに出かけたり(大好評!)、一人で黙々と文字を書きつけるメンバーの言葉からカルタを作ったらそのシュールさにみんなで大ウケしたり(本人も大喜び!現在大流行中!)。先日は福祉バスをチャーターして東京スカイツリー遠足へ。一緒に楽しみ笑い合える日常を取り戻していきたいです。(萩原)



展覧会

2024年10月9日(水)~14日(祝・月)
会場・ギャラリー NEW 新九郎

「自分らしく生きる」展は15回目。6日間で505名ご来場いただき、今回もたくさんの出会いがありました。アールのメンバーも交代で案内役として活躍しました。アンケート結果から、半分以上の方が過去3回以上アールの展覧会に足を運んでくださっていることがわかり、ありがたい気持ちでいっぱいです。ギャラリートークでは今回も大勢のメンバーが自分の言葉で自作を語り、時に爆笑を巻き起こす和やかな時となりました。



小田原シーパラダイス展

2024年7月29日(月)~8月7日(水)



支援員の企画・キュレーションによるメンバーの作品展を、事業所内のギャラリーカフェにて開催しました。題して「小田原シーパラダイス」。海の生き物というテーマを発表したところ「立体のクジラを作りたいんです!」「海ってことは“人魚”もアリですか?」とメンバーから沢山のアイデアが集まり、展示もみんなで協力して、ギャラリーカフェにぎやかな海の中に変身。壁だけでなく天井や床にも海の生き物が泳ぎ、お客様から「見どころがたくさんで、何時間でもいられるね」と言っていただきました。(支援員・渡邊)

カラフル・ポップ・萌え 尽きることのない物語



2024年5月9日(木)~15日(水)会場・KURA shop& gallery (国府津)

アール・ド・ヴィーヴル・セレクション展としていつもと違った一面を紹介する展覧会。会場の2階というクロゾドな場で、公開のギャラリートークには参加しないメンバーが語れる非公開トークも企画しました。進行はアールの支援員。聴衆として参加したメンバーからは、アトリエではあまり話したことがない仲間の話、創作に対する考え方が聞けたことで、「共感した」「自分と同じだったから安心した」という声が聞かれ、その後アトリエで対話が生まれるなど、メンバーのコミュニケーションにも変化が起きた展示となりました。5月12日(日)は作家の田口ランディさんと中津川浩章アートディレクターのクロストーク。今回の展覧会の感想から、サブカルチャー、アールブリュット、表現することと治療など多岐にわたる話題に、聴衆は身を乗り出して聞き入り「生きる力をもらいました」という会場からの発言が飛び出す一幕も。

「自分らしく生きる15」展および「カラフル・ポップ・萌え 尽きることのない物語」展キュレーション：中津川浩章アートディレクター

Message

2024年には神奈川県ともいきアート公募展の総合ディレクターをつとめ、前年には静岡県障害者アート展のプログラムディレクターを、また埼玉県障害者アート企画展ディレクターとして12年以上携わってきました。このほか日本全国各地で公募展選考委員、講演活動、ワークショップなど、障害がある人たちの表現活動に関わってきた中で、最近感じるがあります。私が活動を始めた30年前と比べると、障害がある人たちが作品に対する認知は大きく広がり、企業などからもさまざまなアプローチがあります。これまでは無かった選択肢が急激に増えていく一方で、障害がある人のアートが一過性のブームとして消費し尽くされてしまうのではと懸念する声も聞かれます。そうならないためにも、アール・ド・ヴィーヴルの活動では、一人ひとりの“顔が見える関係”を大事にし、しっかりと“地域とつながって”いくこと。だれひとり取り残されることのない社会をつかっていくために、それがこれからますます大切になると感じています。

アートディレクター 中津川浩章

デザインモチーフとしての作品採用

アールメンバーの作品が社会のさまざまな場所で活躍しています



左：2024年4月HaRuNe小田原10周年装飾としてメインビジュアル、天吊り、壁面装飾などにアールメンバーの作品多数採用 (株)JR横浜湘南シティクリエイティブ 右：2024年6月ココヨ(株)さまが手がける(株)フジタ新社屋ビルに柴田航汰さんの作品を提供 (コーディネイト：株式会社and and plus)

今期の採用事例

(株)柴橋商会 エコバックデザイン (リネアップサイクルプロジェクト) / (株)横浜銀行 季刊誌表紙・「ミライをつくるアクションプログラム」表紙 / 独立行政法人福祉医療機構 月刊WAM表紙(年間) / サンネット(株) リクルート冊子表紙 / アルコニクス(株) 株主総会資料表紙 / お茶ラボあしがら ラベルデザイン / KOKUYO (株) 壁紙デザイン・アートボード (テラスエナジー(株)・(株)フジタ・シナネンホールディングス(株)・朋和産業(株)) / CBRE インベストメントマネージメントジャパン / ノベルティデザイン / 小田原市「つながる福祉展」チラシ / 神奈川県「第1回ともいきアート公募展」メインビジュアル / エーエル プラス(株) 10周年ロゴ / 九頭龍シャンプー ラベルデザイン / JR 東海 新横浜駅構内仮囲い作品提供

作品リース事業

アートディレクターが空間に合わせて作品をセレクトし、メンバーとスタッフが定期的に交換へ。小田原、近隣市町、横浜、川崎、東京都内へお届けしています。お気軽にお問い合わせください。

写真：神奈川県住宅供給公社での展示



現在リースをご利用くださっている皆様(令和7年2月現在) [50音順・敬称略]

Adyen Japan(株) / アルコニクス(株) / (株)鮑屋 / 大谷社会保険労務士事務所 / (株)小田急箱根本社 / 小田急不動産(株)本社 / 小田原ガス(株)本社 / 小田原ガス(株)エコリア / 小田原市役所 / 小田原短期大学 / 小田原箱根商工会議所 / 神奈川県住宅供給公社 / カフェグリット / 共同冷蔵(株)本社 / 共同冷蔵(株)大井物流センター / 漁港の駅TOTOCO 小田原 / (株)クレスコ / さがみ信用金庫本店 / 佐々木ナオミ国会事務所 / サンネット(株)本社 (小田原) / サンネット(株)東京本社 / CBRE Investment Management (株) / 循環器中町クリニック / (株)鈴廣蒲鉾本店 / 整体半蔵 / ゼロワン(株) / DiningNICO / つき宮川本店小田原店 / (株)東海ビルメンテナンス / 美容室MU / (株)ファーレン小田原 / ふくらん / PuMBaA / (株)松岡東京 Central DC / (株)まるだい運輸倉庫 / (株)ミクニ小田原事業所 / 道の駅足柄・金太郎のふるさと / みなとみらいクリニック / 横浜小児科医院 / 横浜銀行本店 / 横浜銀行小田原支店 (41件)

ライブペイント 箱根クラフトハウス(株)小田急箱根さま



2024年10月20日(日)強羅公園110周年記念イベントのひとつとして「箱根クラフトハウス」の東屋の壁画を6年ぶりにライブペイント。ダイナミックに描きこんでいくメンバーの姿に目を止め、声をかけてくださるゲストの方も。アールらしい多幸感に満ちた作品になりました。



アート・織り・英語・ヨガ

ワークショップ

障害がある人もない人もどなたでもご参加いただけるインクルーシブなワークショップも11年目。講師のみなさまのご協力のもと、温かいサードプレイスが小田原の地で続いています。ぜひお気軽にご参加ください。



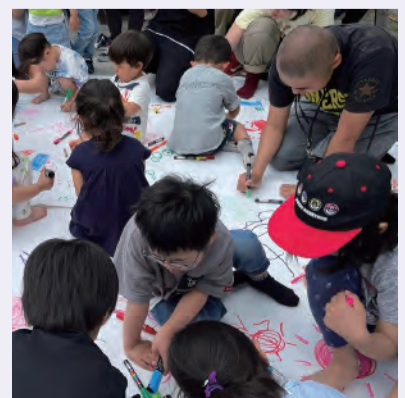
スケジュール・お申し込みはこちらから

公開ワークショップ「みんなで大きな絵を描こう」

中津川浩章アートディレクターが考案した障害がある人もない人も一緒に創作するアートワークショップ。大きな画用紙の上に乗って、障害のあるメンバー達がリードして描き始めると、一般の人達も自由に筆を動かします。次第に心が解放され、障害の有無の壁を超え隣同士で描く開放感いっぱいの時間を共有します。

今期の実績(2023年10月~2024年12月)

2023年11月3日(金祝) 横浜象の鼻パーク
2024年5月12日(日) 国府津 BREND PARK
[おだわらカルチャーアワード受賞企画]
2024年10月13日(月祝) 辻堂海浜公園
2024年12月8日(日) Harune 小田原 小田原つながる福祉展



アールのアートグッズ

ミニスカーフとしても楽しめるハンカチーフ4種
ギャラリーカフェ・オンラインストアにて
近日発売です。お楽しみに!

ONLINE STORE

